

1946年に赤ちゃん用おむつカバーの製造業として創業。

1970年代に学校用水泳帽の開発・製造・販売の事業に転換する。1980年代に新しい分野としていち早く介護用品の展開を創め、“介護”という言葉は当社が発明しました。



肩まで覆う大きなお食事エプロン



着心地と腕の動かしやすさを追求した形状



首回りは調節が簡単な面ファスナーを採用

得意な技術・製品

- 当社の水泳帽子は「日本水泳連盟」の推薦となりオリンピック日本水泳チームにも採用される等、品質の高さと商品構成・生産数量ともに日本一のシェアを占めます。この技術を基に「赤ちゃんからお年寄りまでの健康づくりに役立つ商品開発を行っています。」
- 「肌に直接身につける製品であること」「一般では使用しない伸縮性素材を使用していること」が多く、技術・加工・素材の最新情報から安全性(品質)を考慮した製品開発が強みです。
- トップスイマー～お食事時のエプロンまで、適正な素材の選定と加工技術により、“はっ水”機能の商品は秀でた耐久性により評価をいただいております。

主要な技術・製品

“トレーの下まで敷いて、食べこぼしで汚れを軽減する丈の長い食事用エプロン”（サイズ：幅75×丈105cm、面ファスナーにより首の調節が簡単）

- ①従来品のアクリルコーティング(防水)をなくし、独自の技術で縦と横の糸を高密度に編みだて生地組成ではっ水させ、洗濯耐久性を向上
- ②洗濯や着用時に発生していた「シャカシャカ」音によるストレスを、アクリルコーティングをなくす事により軽減
- ③洗濯機・脱水機・乾燥機(60度以下)の使用が可能(ご使用後は油分等が付着している可能性があるため、早めの洗濯をお薦めしています。)
- ④従来品と比べ張り感がなく、柔らかい風合いで体に自然となじみます
- ⑤5柄2色の10配色展開、好きな色を選ぶことが可能

- 生産拠点、研究体制：奈良工場、カンボジア工場
- 得意な顧客、市場分野：量販店、介護メーカー
- 今後開発・獲得したい技術：有機半導体デバイス商品

フットマーク カブシキガイシャ

フットマーク 株式会社

- 資本金:8,500万円
- 従業員数:55人
- 設立年度:1950年
- 連絡窓口(名前):唐鎌 誠
- 所属団体:ヘルスケア部

所在地:〒130-0021 東京都墨田区緑2-7-12

電話:03-3634-0507

FAX:03-3635-3690

<Eメール>

m-karakama@footmark.co.jp

<ホームページ>

http://www.footmark.co.jp